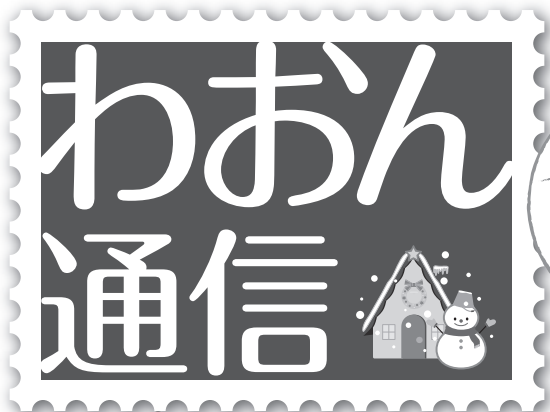


特集

地域が熱い！ 動き出す低炭素社会づくり

各地のCOOL CHOICE宣言と活動



CONTENTS

P2 — P3

県内地域の取り組み

“棚田”から環境保全をPR
 全国の研究者に県内活動を紹介
 トンボを愛する人々・全国から
 まつりとともに省エネ啓発

推進員 歌舞ちゃんの
 あ〜なって、こ〜なっちゃった！ Vol.2

P4 — P5

地域が熱い！動き出す低炭素社会づくり

各地のCOOL CHOICE宣言と活動

P6 県情報

広げよう「エコの和」

P7

推進員さん訪問記^①
なるほど ザ・ワード

P8

INFORMATION

“棚田”から 環境保全をPR

2016年9月2日・3日
第3回わかやまの棚田・段々畑サミット

[柱本学園自然環境保全会 橋本市柱本]



Choji (チョージ) さんによる棚田コンサート

このサミットは橋本市柱本で開催され、和歌山県各地から約260名の参加がありました。今回のテーマは「棚田がつなぐ村人（ひと）と街人（ひと）とともに守る」。初日は、橋本市市民会館でのシンポジウ

ムからスタートし、有田川町沿にある棚田の認定式が行われました。また各地の事例紹介として、千葉県鴨川市・大山千枚田保存会の石田三示氏による「都会近郊での棚田保全の取組」の基調講演に続き、大阪・河内町の「里山倶楽部」、高野町の「富貴・筒香田んぼつくりタイ」、地元の「柱本

田園自然環境保全会」代表者によるパネルディスカッションで保全活動の取組発表と課題について意見発表がありました。2日目は、県の棚田に認定されている「芋谷の棚田」の見学会、そしてシン

ガソングライターのChoji(チョージ)さんによる棚田コンサートも開かれました。参加者からは「棚田を守っていただいている人に感謝するとともに、この環境をこれからも守ってほしい」という励ましの言葉がありました。

(推進員 黒井成男)

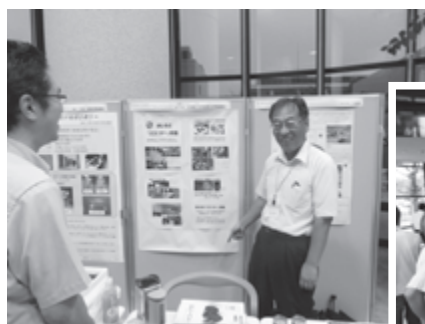
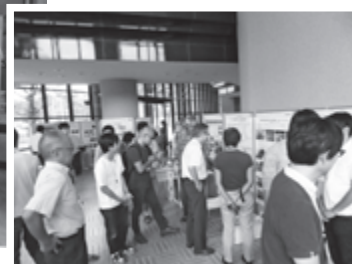
全国の研究者に 県内活動を紹介

2016年9月27日・28日
廃棄物資源循環学会第27回研究発表会

[地域協議会・県センター]

全国の研究者が集う廃棄物資源循環学会が和歌山大学で開催され、県内の温暖化防止活動を中心とした市民団体によるパネル展示が行われました。今回は「生物多様性の4

つの危機と3R」をテーマに掲げ、自然保護・生物多様性分野、ごみ・3Rと分野、地球温暖化防止分野に取り組む20団体が出展、2日間で233名が参加。わかやま環境ネットワークは、寄付のしくみで県内の森林保全につながる取組や県内の循環型社会活動への支援、伊都・橋本地球温暖化対策協議会は、子供たち3Rを中心に学ぶ「はしもとエコロジー学園」の取組、



紀南地域地球温暖化対策協議会は、梅剪定枝熱利用循環システムの取組を発表、日頃の活動成果を伝える機会となりました。また「心のゴミのリサイクル」というテーマで紀三井寺副住職・前田泰道氏による特別講演もありました。「毎日起こっている事件は、仏教ではむさぼり(貪)、怒り(瞋)、間違った思い込み(痴)の三毒煩惱によるものであ

トンボを愛する人々・ 全国から

10月1日・2日
第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会

[県内3ヶ所・和歌山県民文化会館]

り、この心のゴミとどう付き合ひリサイクルするのか」といった内容でした。

(推進員 黒井成男)

年に一度の全国トンボ・市民サミットが和歌山県で行われ、各地からトンボ研究者・愛好家約240名が集結しました。初日は、海南市孟子不動谷里山公園、橋本市柱本芋谷、印南町切目川ビオトープの3か所でトンボ他の採集・観察会等のエクスカージョンが行われました。2日目は和歌山県民文化会館で本大会を開催。和歌山県におけるトンボ研究の第一人者である南敏行先生による「和歌山県のト



本大会で生物の調査報告をする古佐田丘中学の生徒

ンボ相」と田辺市天神崎の玉井澄夫先生による「天神崎のナショナルトラスト運動」の基調講演がありました。自然活動の現場から、自然活動を行っている向陽中学校、「アオバズク」の調査を行っている東海南中学校の宗君、古佐田丘中学校の皆さんからの調査報告、続いて会場全体のディスカッションが設けられました。トンボは自然環境を知る目安（指標）と言われており、サミットを通じて自然環境保全の必要性を再認識した機会となりました。最後に、次回開催地である宮城県名取市にバトンが引継がれて閉会となりました。

（推進員 黒井成男）

今年も弁慶まつりが開催され、和歌山県環境生活総務課と協働でブース出展しました。会場では「うちエコ診断」や啓発パンフレット配布等を実施。当日はお天気にも恵まれ、10月とは思えない汗ばむような陽気に30人の方がエコ診断を受けられました。この診断は日常生活を二酸化炭素排出量という数値で把握し、

まつりとともに 省エネ啓発

2016年10月1日
扇ヶ浜海水浴場 田辺市

【エコネット紀南】



トンボの生態の解説をする南先生

対策について対面診断して効果的削減につながるアクションを選択して頂くことが狙いです。すでに多くの方が削減を実践しておられました。自動車からの排出量が多くなる結果は和歌山の地域的特性を再認識した次第です。

診断を受けられた方々からは「無理をせず、できることから心がけたい。」「普段意識していなかったが、数字により比較ができてよかった。」「新しい家電を購入したいが、この先何年使うか・・・」といった感想でした。これもまた現実、着実にCOOL CHOICE!

（推進員 安宅瑞晃）



弁慶まつり

推進員
歌舞ちゃんの
Vol.2

あ~なって、こ~なっちゃった!

CO₂ 排出量の少ない生活は…

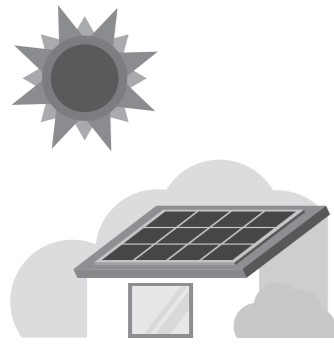
前号の「自分サイズの暮らしを求めて…」では、推進員としてCO₂排出量の少ない生活を披露したが、なんてことはない。これは、以前から環境問題や政策に関心とある程度の知識があったことと、自身の経済状況（要するにピンボー）であったことが相まった結果で、ウマイ具合にタイトルに繋げることができただけのこと。

さて、前号で大事なことを書き忘れました。「私は車も免許も持っていない。」和歌山でこう言うと大抵驚かれる。元々持たないための慣れもあるが、現在和歌山市内在住で、バス停まで徒歩5分程度、職場は自転

車で10分程ということで、然程不自由は感じてはいない。と言うか、車を持たないメリットの方が断然多い。当然のことながら、ガソリン代に駐車場代、保険代が要らない。CO₂排出計算ソフトを使っただけの「うちエコ診断」では、大変優秀と褒められ、「歌舞ちゃん乗っていく？」とお声がけに、いちいち人の優しさを感じる、などなど…車の無い生活ってなかなか良いものです。みなさんもちょっと試してみませんか？

このコーナーでは推進員の方々のCO₂削減活動を募集しています。ぜひ、「私はこんな活動をしました」という声をお寄せください。

地域が熱い！ 動き出す低炭素社会づくり



各地の COOL CHOICE 宣言と活動

今、全国各地で低炭素な社会を具体化していくための取組がはじまっています。地方公共団体が地域と連携してはじめている COOL CHOICE（クールチョイス）宣言と活動について紹介します。



COOL CHOICE 宣言、そしてキックオフに向けて



県内の地方公共団体からのCOOL CHOICE宣言が集まっています。有田川町ではこれまで「ありがわというエコのまち」をスローガンに掲げながら、地球温暖化防止に関するさまざまな取組を行ってきました。今回、COOL CHOICE宣言を通じて、低炭素型の暮らしをもっとすすめていこうという動きが始まろうとしています。



全国の棚田百選に選ばれている「あらが島」の棚田でのイベントの様子



有田川町宮二川小水力発電所
【県営二川ダム維持放流水を利用】



エネルギー兼業農家として
みかん畑の上に併設されている太陽光発電設備

【エネルギーの地域自給を推進】

自分たちで取り組めることは何か。生活に欠かせないエネルギーを自ら生み出していく取組をこれまで重ねてきた有田川町。風力発電設備の導入をはじめ、太陽光発電設備や雨水利用設備を導入した小中学校が文部科学省エコスクール・パイロットモデル認定校として選出、またダムの水を利用した発電設備を導入するなど、設備の導入を積極的に行っています。

そして、町民・事業者・地方公共団体が一体となって、地域のひとりひとりが「自分ごと」として考えていくための取組が予定されています。

【まずは一緒に考えてみる】

来年1月にイベントが開催されます。

“参加型”の自然エネルギーを地域の人たちが関わり・つくり・育てている他地域の事例について3人の専門家の話を聞いてみます。そして、地域にどのような可能性があるのかを探り、一緒に考えてみます。

有田川エコフェスタ ～自然エネルギーで地域を興す～ つながるまちのつくりかた トークセッション

日時：2017年1月29日(土) 10:30～12:30

場所：有田川町地域交流センター ALEC（アレック）

（詳しくは8ページ）

「かしこい選択」という ライフスタイルをひとりひとりに

全国の動き

冬の暖房需要が高くなる北海道では、2015年12月～2016年2月末までの期間「北海道まるごとCOOL CHOICE大作戦」を展開しました。地元新聞社やFM局、振興局などが連携し道民への「節電」を呼びかけ、暖房時の室温を20℃に設定しつつ、心地よく過ごすためのライフスタイルについて広く伝えるものです。具体的には、賛同企業・道内14の振興局とが連携しながら、ポスターやイベント会場での普及啓発活動を行いました。ご当地キャラクターが「ウォームビズ応援団」に就任、第67回さっぽろ雪まつりに集合。道民から寄せられた「衣・食・住・楽のあったかアイデア」を紹介し、合わせてCOOL CHOICEへの賛同を呼びかけました。



「ご当地キャラクターがステージに登場！」提供：北海道まるごと COOL CHOICE 大作戦！

県内の動き

和歌山県でもCOOL CHOICEへの賛同者を募る取組がスタートしています。これまでに、個人賛同者が2485人、企業・団体・自治体合わせて54の組織が「賢い選択」に向けた宣言をしています。

わかやまCOOL CHOICE宣言 賛同者数	
個人賛同者 2,485人	組織(企業・団体・自治体) 54

(※2016年12月1日現在・県センター調べ)

賛同者を引き続き募集しています

「わかやまCOOL CHOICE宣言」Webサイト

<http://wenet.info/save/cc/>

[わかやまクールチョイス](#)

検索

広げよう「エコの和」

地球温暖化対策

パリ協定が11月に発効し、世界が温室効果ガス削減目標の達成に向け動き出しました。和歌山県でも、第4次環境基本計画で削減目標を設定しています。目標達成のためには、県民、事業者、行政それぞれの取組がとても大切です。

エコの和

和歌山県では、県内等で実践されている環境にやさしい取組を紹介し、広げていく「エコの和」という活動を始めました。県民のみなさんや事業者の方々が実践した環境にやさしい取組の写真を「#エコの和」をつけてinstagram（インスタグラム）、Facebook（フェイスブック）へ投稿してください。

また、「#エコの和」で他の方の取組を検索、チェックし、さらに取組を広げてください。



■エコの和公式アカウント

instagram（インスタグラム）：【名称】「エコの和（eco_no_wa）」

Facebook（フェイスブック）：【名称】「エコの和（和歌山県環境生活総務課）」

■エコの和ホームページ

[和歌山県 環境生活総務課](#) で検索

投稿例



夕食の買出しはいつもマイバッグと一緒に。

#エコの和
#晩ごはん



いつも一緒にマイボトル。

#エコの和
#マイボトル
#3R



自然エネルギーを使って走る電気自動車。

#エコの和
#電気自動車

「#」（ハッシュタグの使い方）

キーワードの前に「#」をつけることでそのキーワードに興味のある人がみなさんの投稿を見つけやすくなります。「#」を上手く使って取組を広げていきましょう。

コジローの

推進員さん^{ひよっこ}の訪問記¹⁹



有田市 北又一樹さん

有田市在住、エコネット紀中で活躍している北又一樹さんは、4年前に推進員の養成講座を受けました。地域イベントに何度も参加し、推進員活動に取り組む中、平成28年度、正式に県の推進員となりました。

北又さんは、地元有田市で酒屋を営む家庭に生まれ、大学では経済学部に入り、経済学を中心に、企業の社会貢献など幅広く勉強してきました。大学中、就職を探ることよりも自分を活かし社会に貢献するにはどうしたらいいのかと考へ、大学院に進学、日本の税制度の一つである消費税の論点についても学んできました。学生時代、色んなことを考へ、勉強してきましたが、身に付かず失敗も多かったといいます。その時に、恩師から受けた言葉「勉強とは何か、知識を得ることが勉強ではない。勉強とは問題を解決する方法を探ることが勉強なんだ。」と叱咤激励され、学んでいく姿勢と自分の足りない部分に気付いたといいます。

そして、実家の酒屋が規制緩和による影響で、厳しい状態が続いているのを目の当たりに見てきました。小売業が生き残る方法はないだろうか考へている中、和歌山の中小企業を応援する(公財)わかやま産業振興財団に就職しました。県内の中小企業を回り、県を代表するリーディングカンパニー、工夫をしていい商品を作ろうと努力されている事業所や専門家の方と接する機会があり、自分の視野が広が

ると同時に多くの方と交流に恵まれました。

その後、転職することになり、システム開発・ホームページ制作の会社に営業として入ることになります。営業経験がなく、最初は飛び込み営業から始め、どきどきしながら事業所へ訪問してきました。営業を通して、ITを業務に取り入れ効率的にしていこうと、またホームページを通じて情報発信をしていくことは、これからの時代にさらに重要になっていくと関心を持ちました。

その頃、和歌山県経営者協会、和歌山県が主催する「わかやま産業交流サロン」(異業種が交流しマッチングを図る勉強会)で、エコネット紀中の会長と出会いました。何度か会長の事業所を訪問する中で、県の地球温暖化防止活動対策推進員で有田市から印南町までのエリアで地球温暖化防止の啓発活動をしている話を聞き、興味を持つきっかけになり、推進員の養成講座があるので受けてみることになりました。

現在、今まで経験したことを活かせると考へ、2年前に紀州有田商工会議所に転職しました。地元商売人の生の声に耳を傾けながら、日々研鑽し、これからの小売業のあり方を考へ、地元の発展に貢献したいと尽力されています。

北又さんは、仕事やプライベートなどと重なり思ふような活動が出来ていないとの事ですが、イベントでの啓発活動などに少しでも参加できればと意気込みを語ってくれました。

なるほどザ・ワード

STOP温暖化・焦点の言葉 19

*地球温暖化をめぐる報道などで、いま焦点となっている言葉を簡単に解説します

COP22と日本

2016年11月7日から18日、COP22(=国連気候変動枠組条約第22回締約国会議)がモロッコのマラケシュで開催されました。これに先立つ11月4日に「パリ協定」が発効したことをうけて15日からは同協定初の締約国会議も並行開催され、協定の実施に必要なルールを2018年に決定することなどで合意しました。

パリ協定は、産業革命からの地球の平均気温上昇を2℃未満、できればさらに1.5℃未満に抑えることを目的に、21世紀後半には温室効果ガスの排出が実質ゼロとなる「脱炭素社会」の構築をめざす歴史的な合意です。一昨年未のCOP21での採択から1年足らずで中米印EUなど主な排出大国含め110カ国以上が批准し異例の速さで発効しました。これは地球温暖化の脅威へ

の現実認識が世界で共有されるとともに、来るべき脱炭素時代に向け有利な地位を占めたい各国の意欲を反映しています。しかし日本は批准が遅れ、初回会合では決定権のないオブザーバー参加にとどまりました。

COP22開催中に、地球温暖化自体を否定しパリ協定脱退を公言する「懐疑論者」のトランプ氏が米国次期大統領に選ばれましたが、途上国の積極的参加など京都議定書当時とは状況が大きく変化しているうえ、パリ協定には批准後実質4年間は離脱できない縛りがかけられているため、当面破壊的な影響はないと見られています。

日本は批准での遅れを挽回すべく、既定の2030年削減目標を早期に達成してパリ協定が求める目標の引き上げで世界をリードするとともに、脱炭素日本の構築に向け中長期の社会経済発展戦略を国民合意のもとに策定し、強力で推進することが求められます。

イベント情報

有田川エコフェスタ

自然エネルギーで地域を興す

つながるまちのつくりかた トークセッション

5年後のわたしのためにできること、
ゆっくりいっしょに考えてみませんか

日時：2017年1月29日(日) 10:30~12:30 (開場10:00)

場所：地域交流センター ALEC (アレック)

〒643-0021 有田川町下津野704

JR藤並駅から無料巡回バスで約7分 (10:10発)

申込不要 参加無料

主催：有田川町

後援：和歌山県 国立大学法人和歌山大学 テレビ和歌山 NHK和歌山放送局

問合せ：有田川町役場 環境衛生課

電話：0737-52-2111(代表) ※手話通訳が必要な方は1週間前までにご連絡ください

地域に住む人がつながると
どんな町になるのでしょうか

「あ、そういう関わり方もあるんだ」
3人の「手作りエネルギー」

の専門家の話を聞いて一緒に考えてみる
トークセッションです

◆野村 典博氏 (地域再生機構 副理事)

◆湯崎真梨子氏 (和歌山大学教授)

◆中島 敦司氏 (和歌山大学教授)

今年の節電所大賞は誰の手に！

●わかやま「節電所」プロジェクト2016報告・表彰式

日時：2017年2月4日(土) 10:30~12:00

●和歌山県地球温暖化防止活動推進員総会

日時：2017年2月4日(土) 13:00~15:00

※上記2つは同日・同会場にて2部構成で開催いたします。
午前の部・節電所報告会につきましても学習会の機会
となります。

ぜひご出席ください。

プロジェクト全体の報告

分析および評価 吉田 登氏 和歌山大学教授

表彰式

緑のカーテンコンテンツト

わかやまCOOL CHOICE賛同 紹介

場所：和歌山県民文化会館 6階 特別会議室

〒640-8269 和歌山市小松原通1丁目1番地

第13期 和歌山県地球温暖化防止活動
推進員養成講座

「地域で新たな推進員の仲間を作りたい！」
推進員になるための最初の講座です。

「なぜ、変な天気が増えているのか？」という疑問から、
世界の動き、そして和歌山の現状と、これからについ
て最新情報を学ぶ機会です。

●和歌山会場

日時：2017年3月4日(土) 13:30~16:30

場所：和歌山県民文化会館 5階 会議室

〒640-8269 和歌山市小松原通1丁目1番地

●御坊会場

日時：2017年3月5日(日) 13:30~16:30

場所：御坊市中央公民館 (紀州鉄道線「市役所前駅」すぐ)

〒644-0002 御坊市藪378番地1

あなたの活動をサポート わかやま推進員サイト イベント情報も随時更新

県センター通信

さまざまな地域で、啓発活動が展開されています。合わせて行なわれている「賢い選択」をキーワードにしたCOOL CHOICEは、これまで意識的に取組を行ってきた人たち以外にも関心をもってもらい、行動してもらうためのキャンペーンです。引き続き行っていききたいと思います。そのためには、これをお読みいただいている推進員お一人おひとりの活動がますます重要になってきます。2030年までの目標「家庭で40%削減」は本当にあっという間です。今の暮らしにどんな工夫が必要であるかを、もう一度考える機会として、総会・講座を予定したいと思っております。ぜひご出席ください！

2016 冬号 vol.23



発行／和歌山県環境生活総務課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL:073-441-2670 FAX:073-433-3590
mail:e0317001@pref.wakayama.lg.jp

編集・お問合わせ／和歌山県地球温暖化防止活動推進センター
〒641-0014 和歌山市毛見996-2
TEL:073-499-4734 FAX:073-499-4735
mail:wenet@vaw.ne.jp